



田尻町議会だより

たじりの風

8809

Vol.118

平成31(2019)年
2月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



ご成人おめでとうございます



今年は161名の方が新成人になりました

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ 選挙について 7 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 災害時の広報活動等について
- 金田 裕治 議員 1. 住居表示について
- 小林 健治 議員 1. 防犯カメラについて
2. 広域水道企業団との水道事業統合について
- 東 小夜子 議員 1. 学校給食場にクーラー設置を
2. 交通安全について
3. 田尻川の水位計設置について
4. 児童発達支援について
- 吉開 育子 議員 1. 小・中学校の35人学級を求める
2. 府道新家田尻線の水路に蓋をかける計画を府と協議を
- 小川 雄司 議員 1. 個別受信機の全戸貸与を
2. 被災者支援について
①総合的な無利子融資制度の創設を
②一部損壊の全世帯に見舞金の支給を
③ブルーシートの複数枚配布、非常用食料の家族数分の適正配布を
④社会的弱者への支援の強化を
3. 町内のりんくう公園予定地でのスケートボード場を含む整備を

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 災害時の広報活動を

答 戸別受信機も含めて検討する

問 平成30年9月4日の台風21号・30日の24号が近畿地方を直撃し、田尻町も甚大な被害が発生した。町内放送が聞きづらく、ブルーシートやアルファ化米の配布、また被災ゴミの出し方等が伝わらず、役場に電話して確認するなどしなければならなかったと多くの住民さんから苦情を聞いた。災害時に重大な情報を一人でも多くの住民さんに届けるために、各家庭へ防災ラジオを配置してはどうか。

答 **危機管理課長** Jアラートによる緊急地震速報や津波警報など、住民の命を守る重要な情報

は、防災行政無線による屋外拡声器のみならず、エリアメール・町登録メールなどを用いて、確実に伝えなければならない。情報媒体は1つに限ることなく、いろいろな方法で情報を得ていただくことが重要。防災ラジオ（戸別受信機）も暴風雨時等、窓を閉め切っている状態や電波状況が聞こえづらい皆様への補完はできると考えているので検討する。





金田 裕治 議員

問 田尻町では住居表示を実施しないのか

答 費用対効果も含め、今後のまちづくりの検討課題としたい

問 田尻町では土地の地番をそのまま住所表示に使用しており、欠番や飛び地が生じている。災害時や緊急時の救急車や消防車の到着に時間がかかる等の可能性があるため、住居表示を取り入れてはどうか。

答 企画人権課長 多額の費用と長い期間がかかることから、費用対効果を含め今後のまちづくりの検討課題としたい。

問 一部でなく全住民にメリットのある話だが、その点からはどう考えるのか。

答 企画人権課長 逆に住民に負担をいただかないといけない部分もあるので、慎重に見極めたい。

問 住居表示という制度自体を知らない住民も多いと思うのでまずはPRをしてみてもいいか。

答 企画人権課長 どういった方法で行うかは別として、最低限メリットについてはPRしていく。



小林 健治 議員

問 防犯カメラの保守点検実施と増設の必要性

答 実施していく 警察各団体と協議し増設を考えていく

問 近年、事件の捜査、解決における防犯カメラの役割が顕著にあらわれている。また、町内に設置されている防犯カメラは当初設置から一定の年数が経過している。防犯カメラ本体のメンテナンス（保守点検）と増設の必要性を問う。

答 生活環境課長 現在、防犯カメラの点検は年2回実施しており、更新事業についても平成23年度設置した古い機器を平成32年度で更新完了する計画としている。増設についてはひとつおき必要と思われる場所には設置済みと考えており、増設については警察からの要請があれば考えていく。

問 大阪府広域水道企業団との統合は

答 平成31年4月1日統合する

問 田尻町を含む7市町の水道事業は平成31年4月に統合するが、田尻町は他の6団体と異なり、浄水場を廃止して泉南市浄水場から田尻町域に給水するものとなっている。現在の水圧、水量を確保するための水道施設の整備をどのように進めていくのか。災害や水道施設の事故などで泉南市からの給水が長期にわたりストップしたときの対応策はあるのか。

答 上下水道課長 田尻町における統合後の配水計画は、泉南市と給水区域を統合し、既設の泉南市中央配水場を施設整備した後、ポンプ加圧により樫井川江永橋及びマリブリッジに添架している既設水道管を利用して2系統から安定的に現状と同様の水圧、水量を確保して田尻町域に給水するというものである。水道が長期にわたりストップ（断水）することが生じた場合は、既存の企業団水を受水している田尻分岐受水管から直送配水を行う。また、田尻町浄水場内に100立米の耐震性貯水槽を設置し、応急給水対策をする。



東 小夜子 議員

問 学校給食場にクーラー設置を

答 適切な方策を検討する

問 子どもたちの成長を支えてきた一つに学校給食がある。今年の夏は、気象庁が災害と認定する危険な暑さが続いた。過酷な環境となった給食場にクーラーを設置すべきでは。

答 **学事課長** 学校給食場の環境は 安全な学校給食を提供するため、日々適切な管理に努めている。しかし近年の猛暑の傾向により、厳しい状況となっているので、学校給食場へのクーラー設置など適切な方策を検討する。

問 田尻川の観測情報をリアルタイムで

答 大阪府に要望している

問 国土交通省では 洪水時の水位に特化した低コストの水位計の設置を推進している。田尻川にも水位計を設置して、観測情報をリアルタイムで知らせては。

答 **危機管理課長** 田尻川は氾濫、洪水の危険を察知し、危険が及ぶ時は速やかに対象地域に避難等の緊急情報を知らせる必要がある。町としても監視及び周知する必要は認識しており、既に大阪府に要望している。



吉開 育子 議員

問 小・中学校の35人学級を
求める

答 国や府の動向を見て検討したい

問 現在、大阪府では小学校1年生、2年生の全学級において35人学級編成を実施しているが、3年生以上は40人学級編成である。田尻小学校の1年生は、支援学級の児童がクラスに入ると40人近くになっている。小学校3年生と中学校1年生も40人近い。隣の泉佐野市では、市独自の施策で30年度から35人以下の学級編成を3年生から6年生まで拡大し、市費で9人の講師を雇用した。結果、子どもが落ち着いている、欠席日数が減ったなどの効果が出ているという。枚方市では、支援学級の児童も普通学級の人数に入れて35人学級編成を行っている。田尻町においては、小・中学校で2人の講師を雇用すれば35人

以下の学級が実施できる。支援学級の児童・生徒を同じ学級の一人として的人数に入れ35人以下学級の実施を求める。

答 **教育次長兼指導課長** 田尻町で現在、35人学級の編成の対象になるのは小学3年生と中学1年生である。小学1年生は国基準で実施され、支援学級の児童は普通学級ではカウントされていない。今後、35人学級の編成は国や府の動向をみて慎重に検討したい。





小川 雄司 議員

問 防災行政無線の戸別受信機の全戸無償貸与を

答 口コミ情報が一番大切である

問 防災行政無線放送の「聞き取りづらい」という苦情は「聞こえやすくする」以外解決方法はない。田尻町は、すでに公共・教育施設に7台の戸別受信機を配備している。国の7割の財政支援を受けて、再来年度までに全戸に戸別受信機を無償貸与し解決すべきである。

答 **町長** 受信する町民の皆様にも受信の努力をしていただく必要がある。10月から配信している「たじりっちメール」の登録はまだ300件であり、登録を働きかけていかなければならない。コンパクトな田尻町で一番情報力があるのは隣近所の口コミ情報であり一番大切である。

問 高齢者の「ブルーシート届けてほしい」の声に対応を

答 社会福祉協議会を通じ届けさせていただく

問 「80歳を過ぎると重いものを持ってない。ブルーシートを役場に取りに来るように言われても自転車にも乗れない。」「自分でブルーシートをかけたりはできない。それだけでもしてほしい。」等の切実なご意見を頂いている。ガレキ撤去、ブルーシートの配布など、高齢者や障がい者など社会的弱者への行政サービス・ボランティア支援を強めていただきたい。

答 **福祉課長** 高齢者などへの支援は、社会福祉協議会と連携し、ボランティアによるガレキ撤去や片づけなどを行った。ブルーシートの配布は「届けてほしい」との依頼があれば、社会福祉協議会を通じて届けさせていただく。

審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	明貝一平	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	小林健治	金田裕治	坂口実
特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	×
田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

審査結果並びに経過報告 (12月10日開催)

◎田尻町土地改良事業分担金条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 かんがい排水事業とは、どのような事業なのか。

答 泉佐野市内の新滝野池・稲倉池などを水源とする、かんがい用パイプラインにより、田尻町の嘉祥寺地区に農業用水を供給する事業である。

◎大阪広域水道企業団統合に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 田尻町は、大阪広域水道企業団に統合されたのち、現浄水場はなくなると聞いた。災害時に、3日分の水を備蓄しておくとのことだが、その際の人員体制はどうなるのか。

答 企業団に統合されたあとは、役場に「田尻水道センター」が設置され、人員配置がされる。

問 「田尻町給水条例」を廃止し、「大阪広域水道企業団給水条例」の適用を受けることになるが、料金等団体により異なることについてはどうなるのか。

答 現市町の条例の内容に基づいて、企業団条例に記載される。

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の改正は人事院勧告によるものだが、人事院は民間企業の給与を調査し、勧告を行うが、その企業の抽出対象に変化はないのか。

答 抽出対象に変化はない。

◎平成30年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件

(7,685万円の増額) 【全会一致で可決】

問 歳出で「農業経営構造対策事業費補助金」が計上されている。内容は、先般の台風21号による、農業施設の修復のための補助金と聞いているが、被害件数はどのくらいあるのか。

答 事前の調査で、約40名、50件であった。

文教厚生常任委員会

委員長 大門 久 恭

審査結果並びに経過報告 (12月11日開催)

◎田尻町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 障がい者施設におられた方が、介護保険のサービスを受けるための共生型サービスの提供へ向けての条例改正であるが、田尻町には該当施設はあるのか。

答 現在、町内に該当施設はないが、他市町にある施設を利用されている住民さんにもかかわってくるため、条例改正を行うものである。

◎平成30年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件

(7,685万円の増額) 【全会一致で可決】

問 旧姓併記のための電算改修費用が計上されているが、旧姓併記は希望により行われるのか。また実施は、いつからなのか。

答 実施時期は2019年11月5日からである。本人の希望により実施するものである。

◎平成30年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)の件

(5,042万9千円の増額) 【全会一致で可決】

問 保険給付費が5,000万円の増額補正となっているが、その要因は何か。

答 高度な医療、施術が行われ、それに伴い高額療養費などを押し上げたのが大きな要因となっている。

◎平成30年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の件

(13万1千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成30年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第2号)の件

(44万1千円の増額) 【全会一致で可決】

問 居宅介護サービス給付費を450万円減額しているが、その理由は。

答 他の事業で不足が生じるおそれがあるので、会計内の収支調整のため、当該給付費の減額を行うものである。

投票に
行こう！

4月21日は田尻町議会議員選挙です！

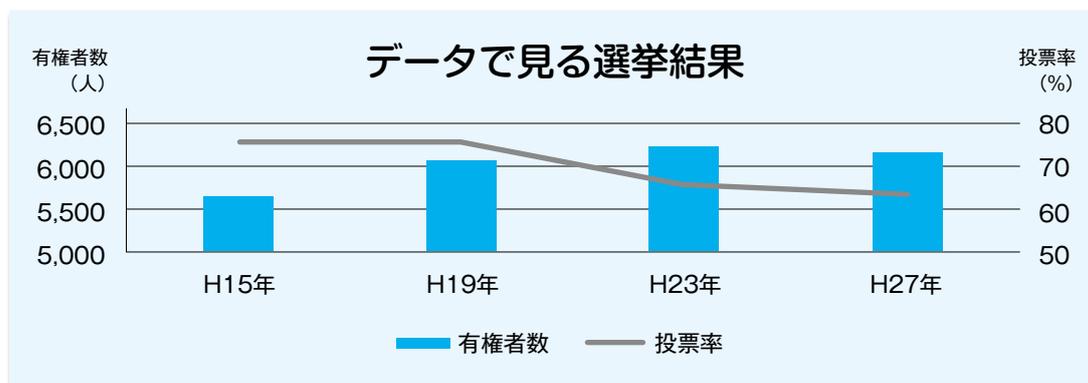
今年は選挙の多い1年となります。

4月には大阪府議会議員と田尻町議会議員選挙が、夏には参議院選挙、秋には田尻町長選挙が予定されています。

今回の田尻町議会議員選挙は、「18歳選挙権」が施行されて初めての町政選挙となります。

期日前投票・不在者投票も活用し、皆さんの貴重な1票を無駄にすることなく投票をお願いいたします。

過去4回の田尻町議会議員選挙のデータ（田尻町HPより抜粋）をグラフ化しました。



田尻町議会のチョット教えて

大阪広域水道企業団ってナニ??

A 大阪広域水道企業団とは、市町村が共同で運営する一部事務組合（特別地方公共団体）で、統合して水道事業を行うことで運営基盤を強化し、安全・安心な水道水をより安定的、効率的にお届けすることを目的としています。

また、府内42市町村により構成された、構成団体数では日本最大規模の水道企業団であり、淀川の水から水道水を製造し、大阪市を除く府内市町村に卸売りしています。平成31年4月からは、田尻町のほか、泉南市・阪南市・豊能町・能勢町・忠岡町・岬町も水道事業を統合することとなり、これらの市町で新たに水道事業を行います。



田尻町と同時期に水道事業を統合する市町の首長。
(平成30年7月に行われた大阪府広域水道企業団と7市町の水道事業の統合に関する基本協定締結の様子です)

この人にインタビュー

2019年田尻町成人式実行委員

実行委員長	松本	千聖さん	学生
副委員長	伊藤	直純さん	学生
委員	富川	湖子さん	学生
委員	澤野	由雅さん	学生



左から澤野さん、伊藤さん、松本さん、富川さん

Q 20歳の抱負は？

- A** (松本) 人より責任感を持って行動する
 (伊藤) 就職活動が最優先です
 (富川) 人より勝るものを作る
 (澤野) 人よりしんどい事を率先する

Q 将来の夢は？

- A** (松本) 春から保育士として働きます、将来は自分で保育園を設立したいです
 (伊藤) 社会貢献出来るように頑張ります
 (富川) CAとか日韓英通訳の仕事がしたいです
 (澤野) 下から慕われる人になりたいです



Q 田尻町に対するの思いは？

- A** (松本) 大好き
 (伊藤) 大好き
 (富川) 落ち着きます
 (澤野) 大好き
 (全員) 着飾らないでいい居場所って感じです

